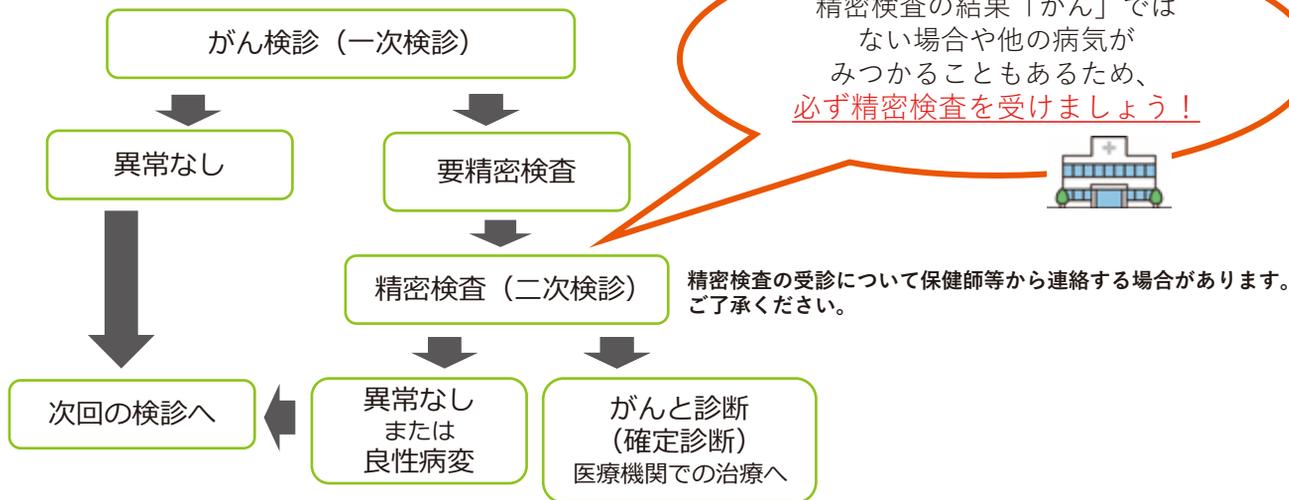


がん検診を 受けましょう



日本人の2人に1人が「がん」になっています。
検診で早期発見し、できるだけ早く治療を始めることが大切です。
◎症状がある場合は、検診ではなく医療機関へご相談ください。

がん検診のながれ



大腸がん検診 (40歳以上 年に1回)

- 便潜血検査
便中の血液の有無を調べます。
- ◆ 精密検査
大腸内視鏡検査
肛門からカメラを入れ、腸の中を直接見て調べます。

R元年度 沖縄県がん部位別死亡数
男性 2位、女性 1位

肺がん・結核検診 (40歳以上 年に1回)

65歳以上の方は年に1回の結核検診受診が法律で義務づけられています。

- 胸部エックス線検査
肺をエックス線で撮影します。
検査条件を満たす方は医師の判断で喀痰検査をします。
- ◆ 精密検査
胸部CT検査・気管支鏡検査
CTや気管支鏡で検査します。

R元年度 沖縄県がん部位別死亡数
男性 1位、女性 2位

胃がん検診 (40歳以上 年に1回)

- 胃部エックス線検査
バリウム(造影剤)を飲み撮影を行います。医療機関によっては胃カメラへ変更可能(50歳以上)。集団健診は胃部エックス線検査のみ。
- ◆ 精密検査
胃内視鏡検査
口または鼻からカメラを入れ胃の様子を調べます。

R元年度 沖縄県がん部位別死亡数
男性 3位、女性 8位

乳がん検診 (40歳以上 2年に1回)

- マンモグラフィー検査
乳房専用のエックス線検査で調べます。
- ◆ 精密検査
超音波検査：疑わしい部分に超音波をあてて検査をします。
細胞診・組織診：疑わしい部分の細胞や組織を採取して検査します。

R元年度 沖縄県がん部位別死亡数 女性 3位

子宮頸がん検診 (20歳以上 2年に1回)

- 細胞診
子宮の入口(頸部)の細胞を取り、がん細胞の有無を調べます。
- ◆ 精密検査
コルポスコープ：子宮頸部を拡大して観察します。
組織診：疑わしい部分の組織を採取して検査します。

R元年度 沖縄県がん部位別死亡数 女性 5位